

丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略に係る提言書

平成 27 年 10 月

丹波市議会

目 次

1 提 言 書

- ① 人口ビジョン、総合戦略全体にかかわる提言 1
- ② 人口の社会増の取組みに関する提言 2
- ③ 人口の自然増の取組みに関する提言 3

2 政策討論会開催状況 5

3 参考資料等

- 丹波市の自然増減、社会増減の影響度を反映した人口シュミレーション . . . 6
- 丹波市の子育て支援施策一覧（就学前児童） 7

政策討論会提言書

課題・論点	提言内容	提言の趣旨・必要となる経費
①人口ビジョン、総合戦略 全体にかかわるもの	2060 年までの目標人口を 53,000 人 に設定し、「帰ってこいよー」のスローガンのもと、人口の社会減、自然減を最小限に食い止めるための施策を積極的に取り組む。	丹波市の総人口の推計は、人口シミュレーションで示されており、現状で推移した場合には、2060 年に 35,245 人とされており、今後 45 年間で 29,243 人、年間 650 人の減少が見込まれている。 このため、現在実施されている施策に加え、本提言書で提言する施策を展開することにより、今後の人口減少幅を推計の約半分に抑制することを目標として、2060 年の目標人口を 53,000 人とする「シミュレーション 2」の推計人口を目指すこととする。

政策討論会提言書

課題・論点	提言内容	提言の趣旨・必要となる経費
②人口の社会増の取組みに関するもの	【新規】 本年度終了する「元気な地域づくり特別事業交付金」の後継事業として、丹波市人口ビジョンに定めた目標人口の達成に向けて、推進本部、指導員、推進委員、住民が一体となって取り組む各自治協議会、各自治会の特色ある事業に対して、重点的に交付金が交付される新たな制度を整備する。	市長を本部長とする推進本部、外部有識者で構成する懇話会が中心になって協議が進められてはいるが、この様な体制の中で策定された総合戦略、人口ビジョンを確実に進めるには、丹波市自治基本条例に準じて市行政と自治会との協働、参画がなくてはならない。 実施団体 小学校区 25 自治協議会、各自治会 事業経費 80 万円×25＝ 2 千万円 2 千万円×10 年＝ 2 億円 計画策定経費（現行予算額） 20 万円×25＝ 5 百万円

政策討論会提言書

課題・論点	提言内容	提言の趣旨・必要となる経費
③人口の自然増の取組みに関するもの	丹波市で安心して出産・子育てができる支援策を充実させる。 【新規・拡充】 ①妊娠期からの切れ目のない子育て支援（丹波版ネウボラ）の整備 ア. 支援体制の構築及び組織・団体等や事業の体系化 イ. 旧 6 町の子育て学習センター等に保健師を配置 ウ. 産前・産後ケア用施設（既設利用による助産所等）の整備 【拡充】 ②出産祝金事業の拡充 第 2 子に 20 万円 第 3 子以降 1 人につき 50 万円 （現行）第 3 子以降 1 人につき 20 万円 【拡充】 ③保育料の軽減拡充（第 2 子は 5 割軽減、第 3 子は無料） （現行）1 号認定：同一世帯小学校 3 年生までの兄、姉がいる場合、2 人目は 5 割軽減、3 人目以降は無料 2，3 号認定：同一世帯の兄、姉が認定こども園等に入所等している場合、2 人目は 5 割軽減、3 人目以降は無料	現在も出産・子育て支援が実施されているが、丹波市における子育て環境や支援への満足度では、普通・やや低い・低いが未就学児・就学児共に 70%以上ある。 また、転入・転出者共に、今後、丹波市が特に力を入れるべき取組みとして、子ども・子育てを上位に挙げている。 丹波市で安心して出産・子育てができるよう現在の支援の拡充と、産前・産後・子育てを切れ目なく支援する制度づくりを行う。 事業経費（提言内容の項目毎） ①目標年度を定めて計画と予算化を行う ②（20 万円×100 人／年）＋（50 万円×50 人／年） ＝45,000 千円／年 ③軽減負担額が仮に 30%増加すると見込むと、約 5,000 千円／年の市負担増となる。 ④10 万円×申請者 10 人／年＝1,000 千円／年

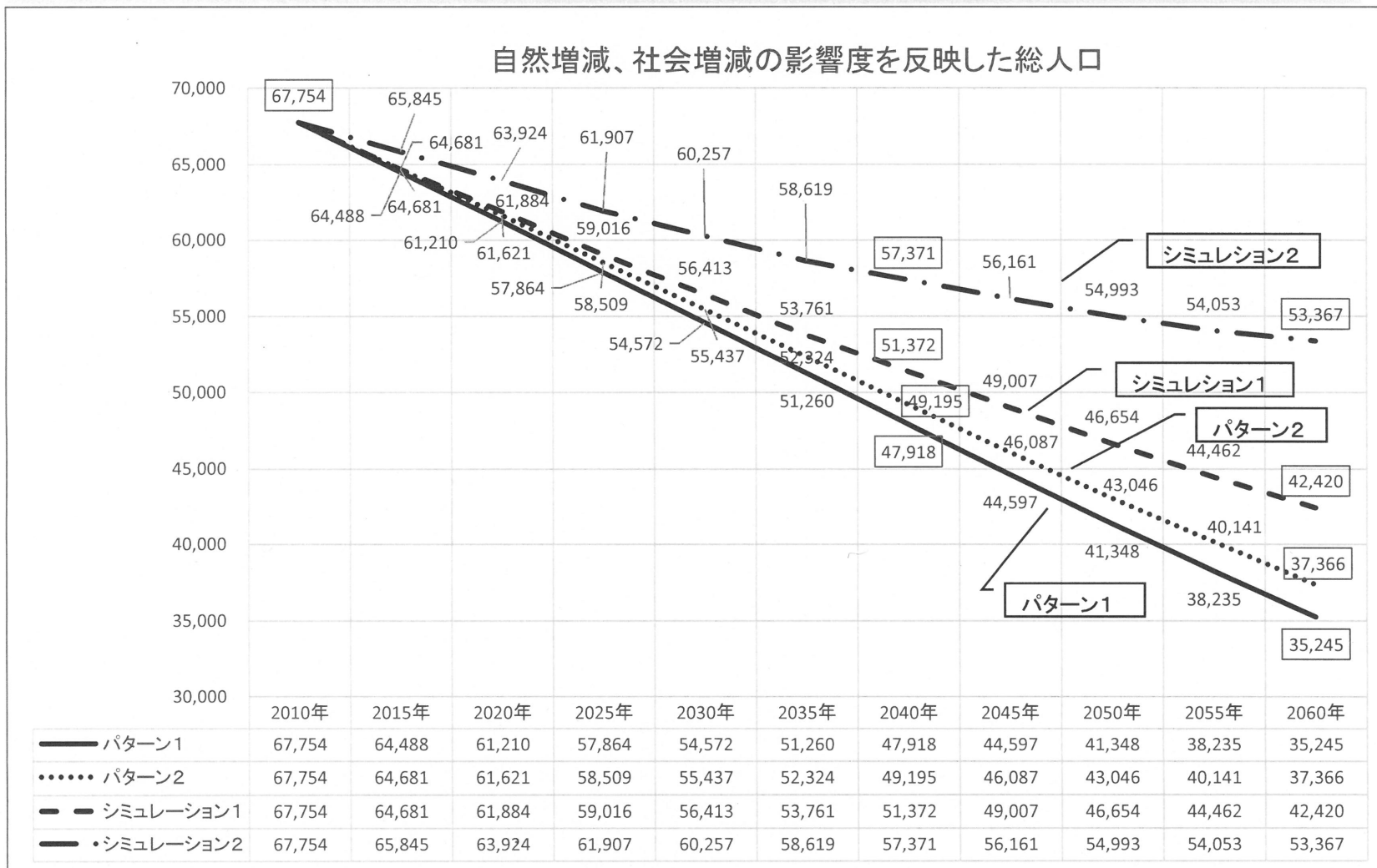
政策討論会提言書

	【新規】 ④不育症の治療費助成 治療を受けている方への助成 1 人につき 10 万円／年 (1 対象者の限度額 100 万円)	
--	--	--

政策討論会の開催状況

- 第1回 平成27年8月12日(水) 午後1時30分～
・「地方創生に伴う人口減少対策」の提案説明
- 第2回 平成27年8月18日(火) 午前9時30分～
・議題に対する各会派からの提言発表
- 第3回 平成27年8月26日(水) 午前9時30分～
・各会派からの提言に対しての質疑、討論
- 第4回 平成27年9月17日(木) 午前9時30分～
・幹事会で抽出、精査された提言に対しての質疑、討論
- 第5回 平成27年10月7日(水) 午後1時30分～
・議会提言とする討論
- 第6回 平成27年10月16日(金) 午前9時30分～
・提言書のまとめ

丹波市の自然増減、社会増減の影響度を反映した人口シミュレーション



総務省：社人研推計準拠に基づく推計値を利用したシミュレーション

丹波市の子育て支援施策一覧(就学前児童)

事業名	担当課	概要
児童手当	社会福祉課	
児童扶養手当	社会福祉課	
特別児童扶養手当	社会福祉課	心身に障害のある児童の保護者に支給
出産祝金（ツープラス1）支給事業	社会福祉課	第3子以降出生児1人につき20万円
少子化対策民間活動支援事業	社会福祉課	
子育て支援連絡会	社会福祉課	
母子家庭等自立支援給付金事業	社会福祉課	
自立支援教育訓練給付金事業	社会福祉課	
高等職業訓練促進給付金交付事業	社会福祉課	
母子家庭等特別相談	社会福祉課	
母子・父子・寡婦福祉資金貸付金	社会福祉課	相談・申請受付（県事業）
子育て世帯臨時特例給付金	社会福祉課	支給対象児童1名につき3千円
子育て応援給付金	社会福祉課	支給対象児童1名につき3千円
障害児福祉手当	生活支援課	月14,480円支給
自立支援医療費支給事業	生活支援課	
児童発達支援	生活支援課	ひかみ障害者・児生活支援センター
放課後等デイサービス	生活支援課	
障害児相談支援	生活支援課	ひかみ障害者・児生活支援センター、子ども発達支援センター
障害児通所支援（医療型児童発達支援）	生活支援課	
障害児通所支援（保育所等訪問支援）	生活支援課	
多子軽減措置	生活支援課	就学前の児童通所支援に係る利用者負担の多子軽減措置
出産育児一時金	国保・医療課	404,000円助成
乳幼児等医療	国保・医療課	外来・入院費全額助成
母子家庭等医療 （母子父子家庭、遺児）	国保・医療課	1割負担
予防接種事業	健康課	
予防接種助成事業 （インフルエンザ任意接種）	健康課	
母子健康手帳の交付	健康課	
妊婦健康診査費助成事業	健康課	助成券90,000円を14回交付
妊婦歯周疾患検診	健康課	
特定不妊治療費助成事業	健康課	
すくすく相談	健康課	
こんにちは赤ちゃん訪問事業	健康課	生後4か月までの家庭を訪問

丹波市の子育て支援施策一覧(就学前児童)

事業名	担当課	概要
各種健診・相談事業	健康課	
4か月児健診	健康課	
ゴックン教室（離乳食教室）	健康課	
モグモグ教室（離乳食教室）	健康課	
10か月児相談	健康課	
1歳6か月児健診	健康課	
3歳児健診	健康課	
歯科保健教室	健康課	
歯科保健研修	健康課	
視覚相談	健康課	
聴覚相談	健康課	
未熟児養育医療給付事業	健康課	
丹波市夜間健康相談ホットライン	地域医療課	
小児救急医療電話相談	地域医療課	
こどもの救急ホームページ	地域医療課	
夜間のお薬電話相談	地域医療課	
子育て学習センター事業	子育て支援課	
家庭児童相談室	子育て支援課	
たんば子ども安心ネット設置	子育て支援課	
子育て家庭ショートステイ事業	子育て支援課	児童福祉施設等において一定期間、養育・保護
ファミリー・サポート事業	子育て支援課	
災害遺児激励金（愛育基金）	子育て支援課	
児童虐待防止対策緊急強化事業	子育て支援課	
子育てポータルサイト「すくすくポケット」	子育て支援課	丹波市の子育て情報通信（ホームページ）
保育所・認定こども園	子育て支援課	
特別支援保育	子育て支援課	
乳児保育	子育て支援課	
一時保育	子育て支援課	
延長保育	子育て支援課	
休日保育	子育て支援課	
地域活動事業	子育て支援課	
病児病後児保育	子育て支援課	
預かり保育事業	子育て支援課	保育終了後午後6時まで（幼稚園）
丹波市オリジナル出生届	市民環境課	